

食育に関する施策の進捗状況の概要（平成27年度取組実績）

＜施策展開の3つのポイント＞

- I 富山の「食」に着目した「富山型食生活」の確立
- II 家族そろった楽しい食事 で 健全な食生活の実現
- III 家族を中心とした食育を地域でしっかりと支援

【主な取組み】

【実績の概要】

I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進

富山型食生活の普及など
県民運動の展開

- ①富山型食生活モデルメニューの確立・普及
- ②とやま食育推進フォーラムの開催
- ③県食育推進計画の普及・啓発

地産地消の推進

- ①「越中とやま食の王国フェスタ」の開催による普及・啓発
- ②学校給食における地場産品の活用促進
- ③子どもたちに対する魚食の普及
- ④インショップの開設等の支援
- ⑤女性起業組織等への活動支援
- ⑥富山県ふるさと認証食品（Eマーク食品）の認証
- ⑦地産地消県民運動の推進

魅力ある食文化の継承・創造

- ①新たな「とやま名物」商品開発
- ②「とやまの食」を普及する人材の認定
- ③「とやま食の街道」の魅力充実
- ④越中料理のブランド化の推進

II 家族そろった楽しい食事 で 健全な食生活の実現

家族そろった健全な食生活の
実現

- ①家庭教育かわら版の刊行
- ②とやま食材ふれあい講座の開催
- ③三世代ふれあいクッキングセミナーの開催
- ④富山型食生活普及事業
- ⑤若者世代に対する食育講座の開催
- ⑥食生活改善チェックシートの作成・活用
- ⑦外食産業等と連携した普及・啓発

保育所・幼稚園・学校等に
おける食育の推進

- ①毎日しっかり朝ごはん事業の推進
- ②栄養教諭を中核とした「望ましい食習慣づくり」の推進

III 家族を中心とした食育を地域社会でしっかりと支援

地域で支えあう食育の推進

- ①食育リーダーの養成・派遣
- ②ヤングファミリーに対する食育講座の開催
- ③とやま子育て応援団制度の推進
- ④地域食育推進体制強化事業の推進
- ⑤バランスアップ健康プロジェクトの実施
- ⑥若者を対象とした食育指導の充実

食品の安全確保

- ①食品安全フォーラムの開催
- ②食の安全・安心ホームページの運営
- ③食品表示講習会の開催

- ①県内各地域の食育団体が実践している「健康メニュー」・「伝統料理」などの富山型食生活モデルメニューや「とやまの家庭料理メニュー集」について、食育リーダー等の活動や各種イベントを通じて普及・PR
- ②8月にフォーラムを開催（参加者約200名）
- ③マスメディアや食育関係団体の研修会、イベント等を通じて普及啓発

- ①26,000人を超える秋の陣、冬の陣の来場者に、富山ならではの食材や「越中料理」、「食生活モデルメニュー」を紹介
- ②地場産野菜・果実を活用した特別給食を108品目、274校で実施。米飯給食回数は週3.7回
- ③高校生等に対し魚食に関するセミナーを5回開催、県内5年生に副読本を配布、学校給食に275千食を提供
- ④量販店内の地場農産物を販売するインショップの品揃えの充実等を支援
- ⑤「スキルアップ講座」「チャレンジ事業」等により、女性起業組織の新商品開発等を支援（女性起業件数174）
- ⑥新たに14商品が富山県ふるさと認証食品に認証（H28.3現在 累計35品目313商品）
- ⑦「地産地消大商談会～とやまの食マルシェ～」開催。「とやまの旬の応援団」の募集・登録（H28.3現在：4,110個人・団体）及び活動支援を行うとともに、県産品の優先的選択の動機付けとなるよう「県産品購入ポイント制度」を実施

- ①農林漁業者の6次産業化を支援する県単独の支援制度で地域資源を活用した10件の取組みを支援
農商工連携事業により、加工品など10件の商品・販路開拓を支援
思わず手にとり、持ち帰りたくなるような魅力あるお土産品「富のおもちかえり」新たに4商品の開発
- ②「とやま食の匠」制度の推進により「とやまの食」を普及する人材として167個人・団体を登録
（特産の匠74、伝承の匠57、創作の匠36）
- ③「とやま食の街道」のPR
- ④「越中とやま食の王国フェスタ」冬の陣で「越中料理と地酒を楽しむ会」を実施。195名に県産食材を使った越中料理や地酒をPR

- ①家庭教育かわら版の秋・冬号で「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣を啓発（小学2年までの保護者に7万部配布）
- ②8市町村で計218回の講座を開催。子どもや地域住民約9千人が農業体験や料理教室に参加
- ③食生活改善推進連絡協議会が「三世代ふれあいクッキングセミナー」を101回実施、3,746人が参加
- ④食生活改善推進連絡協議会が市町村推進員への研修会を実施（26回762人）。地域住民を対象とした「いきいきとやま食育クッキング」の開催（26回921人）
- ⑤栄養士会が高校、専門学校、事業所等に講師を派遣（20回）し、633名の若者に食生活の正しい知識を啓発
- ⑥食生活改善チェックシート（中高年男性編）を作成し、食育リーダー等による普及、イベントで活用
- ⑦「健康づくり協力店（飲食店等102店舗）」を巡回し、富山型食生活などを普及・啓発

- ①クリアファイル、カレンダーにより、栄養バランスの良い朝ごはんをとることの大切さを啓発
- ②栄養教諭を増員配置（H22：20名→H27：30名）。農業・親子料理教室、教科や特別活動における指導の充実、「とやまの学校給食レシピ集」の作成と親子料理教室を開催など、食に関する計画的・継続的な指導により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、食育や地産地消を推進
- ③富山県の農業と食文化等を紹介する小学4年生副読本の作成

- ①栄養士など43名の食育リーダーが登録され、地域の講演会・研修会に52回派遣
- ②若い保護者世代を対象に、食と健康や正しい食習慣に関する知識等を紹介する食育講座（28回）に講師を派遣
- ③子育て家庭のふれあいを深める機会を支援する店舗数2,264。「家族そろっての食事」等を支援
- ④各厚生センターにおいて関連教材の貸出し（150回）や出前イベント（5回）、食育連絡会（6回）を実施
- ⑤社員食堂等の民間産業と連携してメニュー改善に向けた取組みを実施
- ⑥学校給食パンの15%減塩化を行った（H28.4月から提供）
- ⑦県民の健康づくりへの意識向上を図るため、「めがせ健康寿命日本一」キャンペーンを展開

- ①食品の保存や富山の特産品の機能性・安全性をテーマとしたフォーラム（1回：150名）や、「食の安全・安心フェア～今、富山からできること～」の開催
- ②食品安全や表示などに関する適時的確な情報提供を実施
- ③食品表示ウォッチャーによる食品表示実態調査の実施。食品表示講習会の開催（4回）や研修会等への講師派遣などにより、食品事業者などに対し適正な食品表示を指導